

公の施設の指定管理者における業務状況評価

令和5年8月30日

施設名	塩見記念青少年プラザ	所管課	教育委員会生涯学習課
-----	------------	-----	------------

1 施設の概要

指定管理者名	(特非)たびびと	指定期間	平成30年4月1日～令和5年3月31日
施設所在地	高知市小津町6-4		
業務内容	<ul style="list-style-type: none"> ・施設の利用の許可に関する事 ・施設及び設備の維持管理に関する事 ・青少年の活動が安全かつ円滑に行われるための支援に関する事 ・主催事業を計画し、実施すること <p><令和4年度主催事業></p> <ul style="list-style-type: none"> ・電気の不思議 発電機を作ろう ・空手体験教室 ・漆喰団子を作ろう ・手話講座【中止】 ・新聞記者の仕事【中止】 ・プロに学ぶ声優教室(全3回) ・オカリナ教室(全5回)【中止】 ・本と人をつなぐ図書館員【中止】 ・声優ステップアップ塾(全4回)【中止】 ・朗読発表会 ・親子筆ペン教室 ・あしなが募金 チャリティーバザー ・クリスマスコンサート ・本の譲渡会 ・ケン玉教室 ・将棋大会 ・高知城英語ガイド講座(全3回) ・郷土の話 ・ダイヤモンドクロッシング ・あそぼーや【中止】 ・本のチャリティミニバザー ・公募ツイッター事業 ・図書室リフレッシュ事業 ・図書室探索 好きな本を教えてください 		
施設内容	<p>青少年教育施設として、「青少年に対し、主体的な活動の場を提供することにより、青少年の社会性を養うとともにその健全な育成を図る」という設置目的に基づき運営している。</p> <p>構造:鉄筋コンクリート5階 延べ1,597.17㎡</p> <p>施設概要:駐車場、駐輪場(1階)</p> <p>事務室、少年サポートセンター(事務室、相談室、面接室)(2階)</p> <p>教育相談研究所(事務室)、小中PTA連合会(事務室)、会議室、共用相談室、音楽スタジオ(3階)</p> <p>まんが図書館、学習室、トークサロン、やまもも(事務室)</p> <p>PRINK思春期相談センター(事務室、相談室等)(4階)</p> <p>多目的室、倉庫(5階)</p>		
職員体制	職員:館長1名 チーフ兼会計1名 事務員5名 合計:7名		

2 収支の状況

(単位:円)

		R03年度(決算)	R04年度(決算)	R05年度(予算)
収入	県支出金	20,256,000	20,411,000	21,910,000
	事業費収入	137,244	135,216	171,000
	収入計	20,393,244	20,546,216	22,081,000
支出	事業費	641,423	725,821	845,000
	管理運営費	7,404,433	7,539,844	9,629,000
	人件費	11,276,650	11,408,063	10,520,000
	消費税	900,000	936,838	1,087,000
	支出計	20,222,506	20,610,566	22,081,000
使用料収入		725,982	838,964	711,000

3 利用実績

	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	平均
利用者数	22,010	31,926	25,620	26,782	27,209	26,709

H28～H29年度は閉館中であり、H30.6.17リニューアルオープン

4 業務の評価

項目	施設からの状況説明に対する評価・意見
①利用拡大のための取り組み	<p>【評価】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・広報活動を進めるにあたり、ツイッターの利用など、最近のトレンドに合わせた情報発信が行えている。 ・来館時は気持ちの良い対応に心がけ、誰でも気軽に使用できる雰囲気づくりに努めている。 ・若者の目線を十分に意識した情報発信や館内での対応ができています。 <p>【意見】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・青少年だけでなく、大人も使用できることをアピールしていただきたい。
②利用者へのサービス向上のための改善策	<p>【評価】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・利用者からのアンケートを受け、全館Wi-Fiを整備するなど、意見箱やシールアンケートを実施して利用者のニーズ把握に努め、サービス向上させている。 ・ホームページやインターネット、ツイッターなどSNSを有効活用した多角的な広報をしている。 ・去年に引き続き8月の休館日を無くし、長期休業中の青少年の居場所づくりに努めたことが素晴らしい。 ・時期による使用目的が集中する傾向が認められ、この状況を改善するために具体的な戦略を持って対処している。 <p>【意見】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・青少年の利用者は「勉強しにくる」「本を借りにくる」「スタジオで練習する」などの動機で来館するが、その動機の向こうにある「悩み・困っていること・話したいこと・聞いてほしいこと」について、気軽に相談できることを館内で目につくところでPRすることも重要だと思う。また、館外に向けた情報発信においても同様で、勉強に来たついでに話したいことを話そう、のような青少年の気持ちの奥にあるものを出していける場所として県内の青少年に向けてその存在を知ってもらえる情報発信が必要。
③施設の運営について	<p>【評価】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・働き方については、職員・パートとも勤務時間のローテーション制を設け、負荷がかかり過ぎないように勤務体制を整えている。 ・安全面にも配慮している。 ・新型コロナウイルス感染対策として、全入館者に、検温、手指消毒、マスク着用を義務化し、利用に人数制限を含めた各種制限を設けて施設を運営した。また、注意書き等を掲示板に掲示し、ホームページに掲載した。 ・常に新たな可能性を模索し、施設の改善に取り組む姿勢は高く評価できる。 ・本県を代表する教育施設といえる。 <p>【意見】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・青少年の主体的な活動の場として当館がある、という主体的な活動の定義が難しい。居場所として館に足を運んでくれたことそのものも主体的な活動である、とするなら、館の中では自分をリラックスさせることができたり、自分がしたいことができたり、自分の気持ちの中にあるものに気づくことができたり、大事なことはここで何をするか、より、自分の気持ちに自分自身がどこまで寄り添ったり、気づくことができるか、に重点を置く施設になることが重要であるように思う。

④利用実績	【評価】 ・利用者数目標を達成した。 ・利用者は堅調に推移しており、認知度が広がっていると感じる。 ・コロナ前の状況に戻りつつある。特にテスト期間中やオーテピアの休館日は来場者が多い。
⑤収支の状況	【評価】 ・若干の予算オーバーはあるが、有益な使い方はできている。 ・利用者数を伸ばしながら、支出は前年と同様に抑えている。
総合評価	<div style="display: flex; align-items: center;"> <div style="font-size: 2em; margin-right: 10px;">A</div> <div> <p>・新型コロナウイルス感染防止に努め、適切に管理運営を行った。</p> <p>・利用者の満足度を上げるための工夫も見られ、適切な施設運営や管理がなされていると感じる。</p> <p>・静かな環境で学びを深めたい利用者と、スポーツや音楽などの音を伴う活動の利用者の両立に向けて、更なる工夫が期待される。</p> <p>・音楽スタジオ、学習室、多目的室、まんが図書室、トークサロンなど、多様な施設があり、多様な目的を持たれた多様な方々が利用されていることを踏まえ、例えば、館と利用者の方々、利用者の方々同士のコミュニケーションの場を設け、よりよい施設の利用方法などを話し合うといった取組を模索してほしい。</p> <p>・毎年新しい取り組みにチャレンジしたり、改善に取り組むなど努力をしていることを評価する。青少年を含め来館された方が穏やかな気持ちなれたり、自分の心の内に気づくことができたりする場所として、今の雰囲気充実しながら運営を継続することを期待している。</p> <p>・館内にあるそれぞれの事業者と連携できている様子がうかがえる。</p> <p>・安全利用に関することはもちろん、青少年の心理について最新の動向傾向を情報交換し合うことは、日々の利用者(青少年など)への対応方法に幅ができるはずなので、館内に入居する団体の皆さんとの情報交換の場を年に1～2回でももつようにしてほしい。それが利用者の安心や期待に繋がるので、ぜひ実践し、評価シートにもその情報交換の場が出た情報や意見・アイデアなどを記載してほしい。</p> </div> </div>

- 【評価の目安】**
- A: 仕様書の内容や目標を上回る成果があり、優れた管理運営が行われたもの
 - B: おおむね仕様書の内容どおりの成果があり、適正な管理が行われたもの
 - C: 仕様書の内容や目標を下回る項目があり、さらなる工夫・努力が必要なもの
 - D: 管理運営が適切に行われたとは認められず、大いに改善を要するもの

※「施設からの状況説明に対する評価・意見」欄には、各施設の品質向上及び利用者拡大に向けて、①から⑤までの項目に沿って、努力成果が見える点や改善が必要だと感じる点、その他特記事項をご記入ください。

また、他の参考になるような業務改善の取組については、総合評価欄にご記入ください。